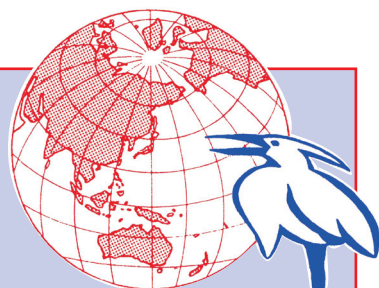




The Service Club to the YMCA
Affiliated to Ysmen International

姫路グローバルワイズメンズクラブ
HIMEJI GLOBAL Y S MENS CLUB



会長：橋崎恵子 直前会長：牧野圭輔 副会長：新井みちる 英 和夫 書記：三宅 敬 魚住美保（ブリテン）
会計：前田文夫 大道薫里・竹居洋子（ファンド） 20周年実行委員長：山水 満 幹事：松崎 護 連絡主事：八杉光春

国際会長（I P）Philip Mathai（インド） 主題「世を照らす光となろう」 スローガン「恵みを愛もて分かち合おう」
アジア地域会長（A P）Oliver Wu（台湾） 主題「歳月は Y's をワイズ（賢者）にする」 スローガン「行動が活力を呼び覚ます」
西日本区理事（R D）成瀬晃三（名古屋クラブ） 主題「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」 クラブで、地域で、国際社会で
瀬戸山陰部部長 福永君二（米子クラブ） 主題「地域に根差し、タレントを活かして、社会の必要に応えよう」

2013年2月1日発行

下半期へ向けて

会長 橋崎恵子

1月18日に半期総会が終わり、後期がスタートしました。
ご出席の皆様ご苦労様でした。お仕事などで出席できなかった皆様、ドライバーの新井メンから後日報告（次号掲載）がありますので、よろしくご覧ください。

半期総会にはメンバー10名とゲスト7名（クラブとしてカンボジアツアー参加を支援したキャンプリダー2名と一般参加者2名を含む）計17名という多くの方の参加をいただき例会を持つことができ、うれしく思っています。

カンボジアの報告会では、英メン、山水メンに大変ご苦労をいただき、映像とともに参加された方のお話をゆっくり伺うことができました。有難うございました。

半期「支えあう仲間作り」をテーマにかかげ歩んで参りました。仕事や介護などお忙しいところの皆様が役員会、例会に積極的に参加いただき会を盛り上げていただきましたことを感謝いたします。

そして、役員会、例会、ブリテンやお誕生日カードを通してメンバー同士交流を深められたことをうれしく思っています。

下半期、仙台1泊ツアーをはじめとして、炊き出し、こころ広畑訪問、広峰山清掃など多くの活動があります。

今後とも皆様の積極的なご参加とご協力をよろしくお願いいたします。



2012～2013年度 会長主題
支えあい、寄り添う仲間作り

今月の聖句

ローマの信徒への手紙 5章 3b-4節
わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

（八杉メン選）

2月例会

ドライバー：竹居メン 魚住メン

第一例会（事務連絡会）

7日（木）19時～、セントラルビル

第二例会（炊き出し）

16日（土）13時～、カトリック姫路教会・ザビエル館



先月の記録

出席記録（会員数14名）

第二例会 出席者10名 出席率 71.4%

カンボジアファンド

先月 ￥ 0

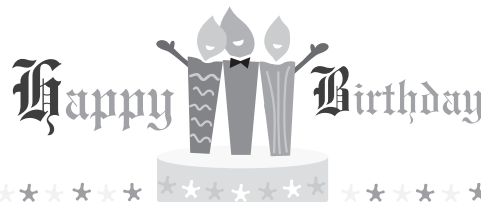
累計 ￥210,619

その他ファンド（クラブ・YEPP・ニコニコ合計）

先月 ￥ 30,000

累計 ￥761,674

2月12日 松崎メン





1 月第一例会(事務連絡会) 報告

日時：1月10日(木) 19時～ 場所：セントラルビル
出席者：橋崎メン 新井メン 魚住メン 竹居メン 英メン
前田メン 三宅メン 八杉メン 山水メン
ドライバー：前田メン 魚住メン

☆12月の報告(ドライバー：前田メン・魚住メン)

1. 6日(木)に事務会を開催。
2. 21日(金)に忘年例会を開催。(18時半～「ハングリー・アイ」)
→オークションで30,000円

☆1月の予定(ドライバー：橋崎メン・新井メン)

1. 10日(木)に事務会を開催。
2. 18日(金)に半期総会。会計・書記は資料用意。
会場を三日潮から商工会議所・清交倶楽部に変更する。
総会資料は、式次第・活動報告・会計報告原案を承認。
総会后、カンボジア・ラオスツアーの写真を見せていただく。
リーダー2人を含め、ツアー参加者にも呼びかける。
3. 13日(日)14日(祝)に次期区役員研修会(大阪)。
前田次期部長、三宅次期書記参加予定。

☆2月の予定(ドライバー：竹居メン・魚住メン)

1. 7日(木)に事務会。
2. 16日(土)に炊き出し。13時集合。
残った料理を持ち帰りできるような容器を用意する。
3. 15日(金)は仙台ツアーの申込締切。
4. 15日(金)はファンド送金締切。各ファンド合計は1人9,900円。
ファンド委員(山水メン・新井メン)からPRしていただく。
区へは立て替えて送金する。BF切手は重量計算し、換算する。

☆3月の予定(ドライバー：三宅メン・大道メン)

1. 7日(木)に事務会。
2. 16日(土)17日(日)に仙台一泊強行ツアー。航空券とホテルで36,800円。
部の行事としてPR中。
参加予定者：橋崎メン・新井メン・竹居メン・英メン・三宅メン・山水メン
3. 23日(土)に例会：こころ広畑訪問(お茶会)。
コーヒーカップ20脚用意中。三宅バンド演奏。

☆4月の予定(ドライバー：英メン・三宅メン)

1. 4日(木)に事務会。
2. 14日(日)に広峰山清掃。
YMCAリーダー、県立大学生に呼びかける。
仙台一泊ツアーを部の行事としてPRする予定。
3. 23日(土)に例会：こころ広畑を訪問し、お茶会をする。

☆5月の予定(ドライバー：新井メン・竹居メン)

1. 9日(木)に事務会。
2. 4月29日(祝)に例会(筍掘)。

☆6月の予定(ドライバー：山水メン・柳井メン)

1. 6日(木)に事務会。
2. 14日(金)に例会(未定)。
3. 22日(土)23日(日)に西日本区大会。
(ウェスティン名古屋キャッスルホテル)
参加予定者：橋崎メン・竹居メン・前田メン・三宅メン・山水メン

☆事務連絡・その他

1. 古切手は1月中に持参ください。
2. ファンドのお願いをファンド担当(山水メン・新井メン)からしていただく。
3. 国際投票しました(名称をYクラブに変更する案に賛成で投票)。

☆YMCA 連絡

1. 1月14日(祝)に姫路YMCAもちつき(10時～16時、太子キャンプ場)。
申込みは明日11日(金)まで。1人2,000円。
2. YMCA 東日本大震災募金への協力を依頼したい。
→クラブファンドよりYMCA 震災募金に10,000円献金する。

☆次年度計画

1. 部会を10月12日(土)13日(日)で決定。
7月14日(土)15日(日)に下見を兼ねて総会を現地で行う。



次期西日本区役員研修会の報告

1月13日(日)14日(祝)、ホテルクライトン(新大阪)にて開催された次期(2013～2014)西日本区役員研修会に、前田次期部長とともに、私は次期書記として参加してきました。瀬戸山陰部からは福永メン(現部長)、岡山の長寿メン(次期ファンド主任)・石原メン(LD委員)・三浦さん(区報編集委員長)が参加でした。

一日目は、開会式に続いて、区現況報告や次期区役員紹介・次期主任の活動方針、キリスト教理解などがありました。夜の懇親会は、なかなかよい料理でした。二日目は礼拝、YMCA 理解、次期部長の活動方針、閉会式でした。

特記事項として、次期メネット事業は「統一プログラムは行わない、各部で『障がい者アート』に関するイベントを行なってほしい、部としてはそれに対して10万円を上限に補助をだす、もしイベント内容に困る場合は、ふさわしい方を紹介する」、との発表がありました。いままで竹居メンが、「メネットは、どこかのクラブが行なっている事業を取り上げて協力すればよいのではないか」と提案されていましたが、それに一步近づいた内容と言えるかも知れません。

また、事務連絡で北村さん(区事務局員)が、「西日本区事務局」と「西日本区事務局」とは別々です。郵便物や提出物がしょっちゅう間違って届きます、間違えないでください、と声を大にして言っていました。私は、間違いが多いなら、間違いが起きにくいシステムに変えるほうが簡単だと思い、研修アンケートに「名前が似ているから間違いが起こるのでは？事務局をキャビネットなどの名前に変えればどうか」と提案いたしました。

二日目の次期部長の発表では、前田次期部長がいつものトークで大いに受けていました。坊勢での部会は、かなり、かなり強力にPRできたのではないかと思います。

次期の高瀬理事は、相変わらずパワー全開で頑張っておられました。昨年の会長研修でも報告しましたが、そろそろ理事を瀬戸山陰部から出さないといけないようです。(次期書記：三宅)



2 月総主事便り

大寒を過ぎ、少し寒さも緩んだと感じられる今日この頃ですが皆様お元気でしょうか。今年は例年よりも雪が多く、北国では、雪かき等たいへん苦労が続いていると存じます。特に被災地で生活をする人の苦労が推し量られます。

そんな東北を励ます意味もあってか、今年のNHKの大河ドラマは福島県会津生まれで、幕末から明治をたくましく駆け抜けた女性、新島八重の生涯が「八重の桜」と題して描かれています。新島八重は会津藩鉄砲指南役の娘として1845年に生まれ、24歳当時女だてらにてスペンサー銃を担ぎ戊辰戦争に続く会津戦争で白虎隊を率い幕府軍として明治新政府の官軍と戦い「幕末のジャンヌダルク」とも呼ばれました。その後、兄の覚馬のいる京都に出、そこでキリスト教学校の同志社の創設に奔走する新島襄と出会い32歳の時に洗礼を受け結婚します。彼女の自由奔放な生き方に周囲から「天下の悪妻」と非難されることもありましたが、夫の襄は八重のよき理解者であり、彼女のことをハンサムウーマンと称し、八重を認めたいわります。八重が46歳の時に夫の襄と死別しますがその年に八重は日本赤十字社の正会員となり、その後日清戦争、日露戦争時において篤志看護婦として傷病兵の救護活動に従事し、「日本のナイチンゲール」と評価をうけました。このような社会福祉活動に至ったのは会津戦争の悲劇を経験したことと、キリスト教の愛の精神にふれたことによると思われます。晩年は華道と茶道をたしなみ、1932年に87歳で亡くなりました。この二転三転する波乱万丈の生き方は多くの人に共感を与えました。人生は山あり谷ありでそれぞれに様々な苦難がありますが、その苦難を生き抜くたくましさを見るようです。タイトルの「八重の桜」は八重の名前にちなんでつけられただけでなく、冬の寒さにじっと耐え、春の開花の準備をする桜になぞらえて作成されたと聞きます。

下記の聖書の箇所は有名な聖句ですが、聖書は、苦難が希望を生むとは語っていません。苦難から希望までの間に忍耐を要し、その忍耐によって練達の域に入り、そこではじめてその過程の中に希望が芽生えはじめると語っているのではないのでしょうか。誰も苦難を担いたくはないでしょうが、苦難に出会ったときに自分としてどう対応するのが問われていると思います。お互いに頑張って生きましょう。

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。ローマの信徒への手紙5章3b-4節

スケジュール

2月 2日(土)	1日スキー、スノーキッズキャンプ③
2月 9日(土) 10日(日)	ハチ高原チャレンジスキーキャンプ
2月17日(日)	野外活動クラブ2月活動
2月24日(日)	太子キャンプ場創立40周年、 リーダー会発足50周年委員会
2月15日(金) 22日(金)	YYサロン